

骨粗鬆症



整形外科医師

出口 力

山香病院だより vol.47

ため、壊す機能をおさえていくことが現在の骨粗鬆症治療では一番効果的であるとされています。

【治療法について】

原則的には内服(お薬)による治療が必要となります(今後よりよい治療薬ができてくるとは思いますが、現在はこのタイプの薬が効果が強いです)。また「骨粗鬆症」の治療は、骨密度低下の予防が大原則となります。骨を強くするというのが目的ではなく、何もしなければ骨は必ず弱くなっていくため、少しでも弱くならないようにするのが治療なのです。

すなわち、早く治療を始めたほうが、強い骨を保てることとなります。幸い「骨粗鬆症」の検査は、非常に簡便なレントゲンのようなものでできます。直接命にかかわるようなものではないため、面倒がる方も多いのですが、長生きするほど身体も元気でなければなりません。

是非とも積極的に検査を受けていただき、一人でも多くの患者さんに治療を開始していただきたいと思います。

皆さん、こんにちは。

今年7月から山香病院整形外科に赴任しました出口力です。山香病院には、以前にも2年間勤務したことがあり、顔なじみのスタッフや地域の方も多く、とても親しみやすい環境で勤務をスタートすることができています。

外来を中心に地域の高齢化というものを強く感じています。整形外科領域では健康な患者さんが増えるにつれ「骨粗鬆症」や腰や膝の変形、骨折などで苦しむ患者さんが多いようです。

特に「骨粗鬆症」を抱えた患者さんは多く、これは大腿骨頸部・転子部骨折のように手術を余儀なくされる骨折や頑固な腰痛の原因となる圧迫骨折などの原因となります。これらは最も多い寝たきりの原因であり、いかにこのよう

な事態を予防するかが重要です。ひとつはロコモジティブ・シンドロームと呼ばれるいわゆる運動機能の低下の予防と、もうひとつは「骨粗鬆症」自体の治療といえます。

一部の疾患を除き、残念ながら「骨粗鬆症」のほとんどは年齢的な要素が原因であり、特に閉経後の女性に関しては必発であると言ってよいでしょう。

いまだにカルシウム不足と勘違いされる傾向にあるようですが、骨の形成能力の問題であるため、カルシウムを十分に取るだけでは「骨粗鬆症」は防げません。カルシウム不足はそれ自体良くないことですが、いわゆる「骨粗鬆症」のほとんどは骨を作る機能よりも、骨を壊す機能のほうが強くなるために起こっています。骨を作る機能には限度がある